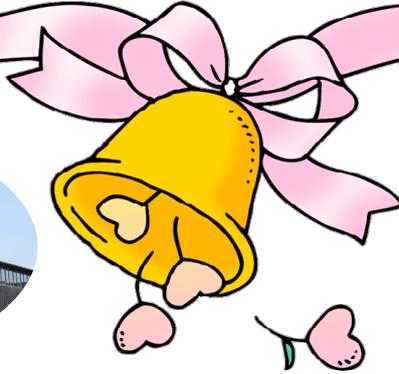


あさな!

令和2年11月27日(金) No.28

文責：矢田部 瑞穂



「全体会」参加, お願いいたします

12月11日(金)の「冬休み前PTA:全体会」への参加を改めてお願いいたします。能代市教育委員会より指定いただいた、令和3年度「特認校」は、小規模校である本校のよさできるだけ多くの方々に知っていただける好機だと私は考えております。全体会には、能代市教育委員会より学校教育課長の工藤真弘様をお迎えして、「特認校」について詳しくご説明をいただきます。さらに、「特認校」は、県内では秋田市について二番目の指定でありますので、新聞社等マスコミの皆様も注目して下さっております。何よりも、本校の子どもたちにとって、これまで以上に、学校に誇りがもて、自分を好きになるきっかけになると考えております。11月初めに、学校運営協議委員の皆様にはすでに説明させていただいておりますが、南中エリアの運営協議委員の皆様全員が、この「特認校」指定に希望を膨らませ、承認いただきました。地域の皆様はもちろんですが、まずは、この浅内小学校に在籍する子どもたちや保護者の皆様が「特認校」についての理解を深め、より魅力ある学校づくりにご協力いただくことが第一義と私は考えます。

すでに、「全体会:欠席」で返信されている方も、再度お考えいただき、ご都合が付くようでしたら、ぜひ、連絡帳等で学校までご一報くださるよう心よりお願い申し上げます。



一人一人が「学力」を身に付ける

今回の学校報の巻頭言にあるとおり、来年度より本校は「特認校」となる予定です。その際、本校の魅力の一つに、「小規模校だからこそ一人一人に目が行き届き、一人一人に学力を身に付けさせることができる。」という事が挙げられます。一人一人に学力を身に付けさせるために、授業改善など学校として努力していかなければならないこともたくさんありますが、「家庭学習」も要因の一つとなります。全校児童68人の自由勉強を見ていると、4月より11月、確実に家庭学習の質が向上しているのを感じます。「机に向かう習慣」を付けてくださっている、ご家庭の皆様にご心より感謝いたします。

先回は、6年生の小川さんのノートを紹介しましたが、今回は多賀谷さん（5年）泉谷さん（3年）を紹介します。

瞳かがやく浅小っ子コーナー



多賀谷
（5年）



泉谷
（3年）

多賀谷さんのノートは、必ず「めあて」があり、「まとめ」「振り返り」がある。普段の授業ノートと同様だ。「自分のため」の学習をしている。机に向かったときに、今日は何をがんばろうかと考え教科を決めて、楽しんで学習している様子がノートから見えてくる。特に、算数は必ず丸付けをして確かめる習慣が身に付いている。そして、間違えたところはしっかり直し、なぜ間違えたのかを考えている。それが大切だ。間違いは誰にでもある。しかし、「なぜ間違えたのか。」「ミスが減らす方法」を考えることが、次のミスが減らす。やらされているのではなく「自分のためにやる」勉強をしている多賀谷さんの姿勢に感心した。

パッと見た感じでもノートを無駄にせず、一生懸命がんばっていることが伝わってくる。今回取り上げたのは、「ローマ字日記」に感心したからだ。ローマ字は3年生で初めて学習する。だが、授業中にローマ字にふれる時間はとても短い。そのような中でしっかりと習得するためには、繰り返し復習するほか方法はない。

「hana」「saru」など単語を書いて練習する方法もあるが、泉谷さんは、違う！ローマ字を使って日記を書くことに挑戦している。担任の櫻田先生への手紙形式での日記だ。言葉は使って初めて身に付く。漢字の練習も文章の中で使ってみて意味をもつ。泉谷さんは、学習の仕方を知っている！「努力に勝る天才なし！」

